

こんにちは

うみ み 議 会 で す



1月3日は日本遺産認定区域内にある
四王寺毘沙門堂詣り
コロナに負けない世界を



360°パノラマの井野山山頂から望む
初日の出

ずっと曇っていたけど、
初日の出が見えて
よかったです



議会広報では、
新型コロナウイルス感染防止策をとって
撮影しています。

見つけようこの百年、うみ出そう次の百年。



2020年に町制施行100周年

Koe Meter

声メーター

実施中!

37.8

議会広報が聞いたみなさんの声
2018.4から

もくじ

- 防災教育に力を入れてます ②
- 河原谷難所ヶ滝に大氷柱 ③
- 12月定例会・11月臨時会 ④
- (質問)町政を問う 8人が登壇 ⑥
- 委員会活動報告 ⑮



2021.2.15

No.80

うみ議会だより
12月定例会

いざという時に使える知恵を身につけよう



井野小学校

防災キャンプで段ボールを使ったパーティションづくりを体験しました。

宇美町役場では昨年1月の機構改革により、危機管理課が発足し、職員が出前講座による講師やゲストティーチャーとなって、各小中学校の防災教育に力を入れています。

井野小学校では、10月15日・16日に校内防災キャンプが開かれ、避難所設営を想定して段ボールでパーティションを作成し、防災クッキングなどをチャレンジされました。

また、宇美東小学校では、10月23日の防災授業にてバケツリレーや水消火器を使った消火訓練が行われ、宇美南中学校では、11月14日に防災教育として、災害時に避難所で自分たちに何ができるのかをテーマに話し合いが行われました。このように、今後、各学校で定期的に防災教育や訓練を実施されることを期待しつつ、議会として防災教育の充実に向けて支援していきます。



宇美東小学校

バケツリレーによる消火訓練を体験。仲間と共同して、素早く消火活動に努める行動がいざという時に役に立ちます。



消火器の正しい使い方を学ぶために、水消火器を使った消火訓練を実施しました。



宇美南中学校

中学生になると避難された高齢者等をサポートする側に回らなくてはいけないという自覚が大切になってきます。

これまでは体育館で雑魚寝状態だった避難所でしたが、感染症対策やプライバシーを確保するために有効なパーティションの設置方法を学びました。

このパーティションは国の交付金を活用して購入され、9月の台風の接近時にも使われました。



「災害が起こったとき、避難所で自分たちができることについて考えよう」をテーマに各自治会ごとに分かれて話し合いを行いました。

いざ災害が発生した際、パニックにならずに迅速な行動をとるためには、頭を整理しておく必要があり、事前準備と心構えの備え、机上訓練などの体験が重要な役割を果たします。

厳冬期のみ現れる幻の水瀑

河原(ごうら)谷難所ヶ滝に大氷柱

年始の大寒波で三郡山系の河原谷難所ヶ滝で大氷柱が出現しました。このところの暖冬で、久しぶりに見ごたえのある大氷柱に成長しました。

大みそかに続き1月9日に二度目の登山をされた、四王寺坂在住の高木愛恵美さんは、「氷の滝は大晦日の時とは違って荒々しい感じ。見に来るたびにその表情が違うのが面白いです」とSNSで情報発信されていました。

難所ヶ滝へは、宇美町の一本松公園まで車で行けますが、積雪時にはチェーンが必要です。また、雪山対策の装備をしっかりと行って雪山登山を楽しんでください。滑り止めのアイゼンは必須です。

宇美町議会も宇美町の宝物を発掘し皆様にお知らせすることで、郷土(ふるさと)への愛着を広めていきたいと考えています。

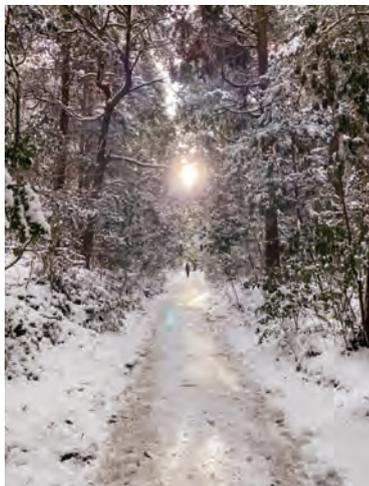


難所ヶ滝は厳冬期のみ出現する幻の滝とされています。岩肌に滴る雪解け水が凍りつくことで見事な水瀑が出現します。

平地で最低気温マイナス3度以下が数日続いたときだけ現れ、これだけ見事な大氷柱ができたのは久しぶりと言われています。



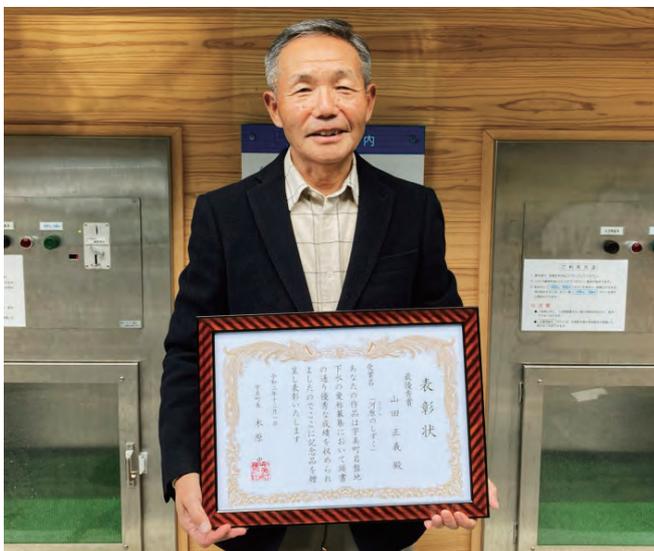
可愛らしい雪ダルマがあちこちに



宇美林道河原谷支線に光の道

三郡山系岩盤地下水の名称は

河原(ごうら)のしずくに決定



命名者の山田正義さん

一本松公園にある三郡山系岩盤地下水の愛称が「河原(ごうら)のしずく」に決定しました。

河原のしずくで淹れたお茶やコーヒーは格別です。今後は、町の魅力をアピールする看板の設置を予定していますので、「宇美の岩盤地下水河原(ごうら)のしずく」をぜひご利用ください。議会としても周知に努め、応援していきます。



コンビニ交付サービスの導入(令和3年2月1日~) マイナンバーカードの利用で 印鑑登録証明書・住民票の写しを取得

12月 定例会

特集

定例会

一般質問

各種委員会活動

令和2年12月定例会は、7日から11日までの5日間の会期で開かれました。

町長から提出された案件は財産の取得案2件、工事請負契約変更案2件、条例案4件、予算案5件すべてを原案のとおり可決しました。

また、請願1件を採択、議員発議2件を可決しました。一般質問では8議員が10項目について質問しました。

財産の取得

避難所の感染対策として機材等を購入。

- 蓄電池 5台
- 発電機(ガソリン式) 8台
- 発電機(カセットボンベ式) 8台
- 契約金額 1771万円
- 契約相手 (株)赤尾 福岡支店
- (全員賛成で可決)
- 簡易トイレ一式 30セット
- 契約金額 814万円
- 契約相手 (株)赤尾 福岡支店
- (全員賛成で可決)

工事請負契約締結の議決内容の一部変更

桜原小学校校舎外壁等改修工事
外壁改修の施工数量の増工、屋上防水改修方法の変更等により、契約額を変更。

- 変更前 1億2551万円
- 変更後 1億5451万7千円
- (全員賛成で可決)

宇美中学校体育館外壁等改修工事
外壁改修の施工数量の増工、防水施工範囲の拡充、開閉窓の仕様変更等により、契約額を変更。

- 変更前 9328万円
- 変更後 1億932万9千円
- (全員賛成で可決)



きれいになった宇美中学校体育館

条例

マイナンバーカードによるコンビニ交付サービスの導入に伴い印鑑登録証明書及び住民票の写しの交付手数料を改正。1枚250円。

(全員賛成で可決)

補正予算



※万円未満四捨五入
令和2年度宇美町一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ2億9439万円を追加、予算総額を169億8009万円とする。

問 11月3日に火災で焼失した宇美八幡宮保育園への町の補助5千万円について、ふるさと応援寄附金を活用できないか。

答 ふるさと応援寄附金による支援をまわすべく課に

依頼、また、SNSを利用して園舎の再建応援に対する寄附のお願いの周知を行っている。
(全員賛成で可決)

請願

宇美東小学校体育館へのエアコン整備を求める請願

請願者 宇美東小学校区

コミュニティ運営協議会

- 紹介議員 中岡 清美会長
- 藤木 泰議員
- 黒川 悟議員
- 吉原 秀信議員
- 飛賀 貴夫議員
- (全員賛成で採択)

議員発議

公立小中学校の体育館へのエアコン整備に向けた財政支援の拡充を求める意見書の提出

- 提出者 飛賀 貴夫議員
- 賛成者 白木 英至議員
- 脇田 義政議員
- 黒川 悟議員
- 吉原 秀信議員
- 藤木 泰議員
- (全員賛成で可決)

町長の専決処分に関する条例
損害賠償額50万円（交通事故
は120万円）までの賠償額の
決定及び和解について、*専決
処分をすることができる。

提出者 南里 正秀議員
賛成者 小林 征男議員

(全員賛成で可決)

※専決処分とは

議会が議決すべき事件（予算や
条例など）について、特に緊急を
要するため議会を招集する時間的
余裕がないときや、軽易な事項で
あらかじめ議決により指定してい
る事項（今回の条例の内容）は、
議会の議決を経ずに町長の権限で
処分することができ、次の議会で
報告し承認を求めなければならない
。（今回の条例で決定した専決
処分は報告のみ）

11月臨時会

和解及び損害賠償の額の決定

公用車と電動自転車との接触
事故。損害賠償の額43万496
0円

(全員賛成で可決)

人事院勧告による給与改定

町職員、特別職、議員の期末
手当を0.05月分減額。会計年
度任用職員は翌年度から適用。

(賛成11・反対1で可決)

令和2年11月臨時会 表決一覧

○は賛成 ×は反対を表しています

審議した議案と各議員の賛否

議案名	議員名	丸山康夫	平野龍彦	安川繁典	藤木泰	入江政行	吉原秀信	黒川悟	脇田義政	小林征男	飛賀貴夫	白水英至	南里正秀	審議結果	討 論
宇美町職員の給与に関する条例等の一部改正・・・職員、議会議員、町長、副町長及び教育長の期末手当の減額改定		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	

※古賀ひろ子議長に表決権はありません

全会一致で承認・可決した議案

議案名
和解及び損害賠償額の決定・・・公用車による人身事故について、和解し、損害賠償額を決定

全会一致で承認・可決した議案

令和2年12月定例会 表決一覧

議案名
財産の取得・・・感染症対策避難所用蓄電池等購入
財産の取得・・・感染症対策簡易トイレ式購入
工事請負契約の議決内容の一部変更・・・令和2年度桜原小学校外壁等改修工事 請負契約額2900万7000円増額し、1億5451万7000円
工事請負契約の議決内容の一部変更・・・令和2年度宇美中学校体育館外壁等改修工事 請負契約額1604万9000円増額し、1億932万9000円
宇美町下水道条例の一部改正・・・排水設備工事指定工事店の指定及び責任技術者の登録に関する手数料の見直し、更新手続きを条例に規定
宇美町都市計画下水道事業受益者負担に関する条例及び・・・特例基準割合を延滞金特例基準割合に改正 宇美町後期高齢者医療に関する条例の一部改正
宇美町印鑑条例の一部改正・・・コンビニ交付サービス導入に伴う印鑑登録証明の申請方法等の改正
宇美町手数料条例の一部改正・・・コンビニ交付サービス導入に伴う印鑑登録証明書及び住民票の写しの 交付手数料等の改正
令和2年度 宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）・・・歳入歳出95万4000円追加し、 予算総額4億5988万5000円
令和2年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）・・・歳入歳出257万2000円追加し、 予算総額40億3915万3000円
令和2年度 宇美町上水道事業会計補正予算（第2号）・・・収益的支出28万3000円追加し、計7億2965万1000円
令和2年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計・・・収益的収入16万4000円追加し、計10億970万7000円 補正予算（第1号） 収益的支出72万8000円減額し、計8億7421万8000円
令和2年度 宇美町一般会計補正予算（第6号）・・・歳入歳出2億9439万2000円追加し、 予算総額169億8008万8000円
発議・・・町長の専決処分に関する条例の制定 (交通事故の場合120万円以下またはその他50万円以下の和解及び損害賠償を専決処分とする)
請願・・・宇美東小学校体育館へのエアコン整備を求める請願
発議・・・公立小中学校の体育館へのエアコン整備に向けた財政支援の拡充を求める意見書の提出

一般質問 町政を問う8人が登壇!

白水 英至 議員 ——— 7P

◆公共物の管理保全を

南里 正秀 議員 ——— 8P

◆一本松公園の有料化を

飛賀 貴夫 議員 ——— 9P

◆今後の行政運営は

黒川 悟 議員 ——— 10P

◆空き家対策の進捗は

◆公共工事の平準化を

小林 征男 議員 ——— 11P

◆原田地区中越池の立ち入り禁止を

入江 政行 議員 ——— 12P

◆コロナ禍で命と健康を守りぬく対策を

平野 龍彦 議員 ——— 13P

◆コロナに負けない
リモート（遠隔）行政を

丸山 康夫 議員 ——— 14P

◆宇美町公共施設再配置計画
一度立ち止まり再検討が必要では

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いただすことです。

駅前広場のイルミネーション

年未年始の間、障子岳イルミネーション会から提供されたイルミネーションは、宇美町商工会の皆様により、駅前広場のモニュメントに飾られ、広場を明るく華やかに彩りました。



白水 英至 議員

公共物の管理保全を

答 緊急度を優先し積極的に取り組む

問 道路の管理を怠ると事故や損害賠償につながり、莫大な費用がかかるおそれがある。本町の道路管理は、

答 都市整備課長 路面のひび割れ率、横断凹凸等の調査分析を行い、補助金や交付金を積極的に活用し、道路整備をしている。

問 道路の不備で過去に損害賠償につながった例は。

答 課長 事例として、ポットホールが原因で物損事故（町の過失割合50%）、路線のコケが原因で歩行者が転倒（町の過失割合30%）、グレーチングの蓋が跳ね上がり車体を損傷（町の過失割合100%）がある。

問 ゆりが丘5丁目付近の交差点周辺には側溝の蓋が付いてない。坂道のため危険な交差点で高齢者や子どもたちが行きかう生活道

路である。大雨の時には側溝いっぱいになり水が流れ、小さい子どもが流されないか心配の声を聞く。

答 課長 既存のU字溝や三面水路にコンクリート蓋やグレーチングを設置すれば良くなるが、蓋をかけることで歩行者や車両が通り、老朽化している側溝が荷重に耐えられるのか心配もある。

また、既存の側溝に合う規格品の蓋もなく一枚一枚作ると相当な金額になるため工法については検討したい。

問 住みやすいまちづくりのためには生活道路の整備も大事だと思う。全町を点検してはどうか。

答 町長 住みやすいまちづくり・安心安全なまちづくりの観点から生活道路の整備は町や住民とっても重要な課題であると認識している。

地域の要望等が多く整備に要する財源の確保が急務であるが、緊急度を優先し積極的に取り組んでいく。

問 建物管理は管理次第で寿命は長くなるが、おろそかにすると修繕に莫大な費用を伴う。施設の建物や学校の校舎の管理は。



ゆりが丘5丁目付近の交差点



サビついた屋根の原田小学校校舎（築30年）

答 学校教育課長 学校保健安全法施行規則に規定。毎学期一回以上行っている。

また、必要があれば臨時に安全点検を行っており、異常があれば学校から教育委員会に報告し、点検や修理を依頼して対応している。

問 修繕費の補助金の割合は築年数で決まるのか。

答 課長 学校施設の改善交付金を活用、補助率は3分の1で上限が2億円。老朽化に伴う大規模改造は建築後20年以上経過した建物が対象で建物全体を改修する必要がある。

一本松公園の有料化を

答 早急に具現化したい



南里 正秀 議員

問 昭和の森一本松公園は、現在、一本松側のトイレが生まれ変わり、公園のイメージアップにつながった。今年猫石側のトイレ整備が進められるが、公園全体の再整備計画策定の予定は。

答 都市整備課長

一本松公園基盤整備懇談会を5回開催し、多様な意見を聴取しているが、現時点では全体的な再整備計画は策定していない。

交付金を活用してトイレの改修工事を先行実施している。

また、観光資源とした地域活性化の推進や民間事業者による管理運営方法の導入などの検討を含めた基盤調査を実施している。

問 再整備を進めることで、維持管理費の増加の見込みは。

答 課長 現在の維持管理費は年間約1500万円。積算はしてい

ないが、今後の整備状況次第では増加が見込まれる。

問 受益者負担の観点からも、これから長く魅力ある公園にしていくためにも、駐車料金を徴収し、維持管理費の一部に充ててはどうか。

参考事例として、篠栗町の若杉楽園キャンプ場では、令和元年4月から有料化に取り組み、成功を収めている。

答 課長 すでに篠栗町観光協会に使用料徴収に至った経緯や設置費用、運営上の問題点等を調査している。

防犯カメラの設置をはじめ、今後、導入に際しての課題等を調査したい。

問 カーゲートを一か所に集中して設置することが望ましいと思うが、林道に設置することは可能か。

答 課長 設置箇所としては、公園入口付近

が望ましい。岩盤地下水販売所付近を想定している。

今後は、地権者を含め関係者の理解をいたしながら、具体的に計画を進めていきたい。



篠栗町の若杉楽園キャンプ場カーゲート

問 町外からの利用者が約8割を占めている一本松公園を有料化することに対して、町長の見解は。

答 町長 公園の有料化については、地権者との調整など問題点もあるが、利用しやすい魅力ある公園として維持管理していく上で非常に必要なことであり、早急に具現化したい。



岩盤地下水販売所「河原のしずく」付近



キャンプで賑わう一本松公園



飛賀 貴夫 議員

今後の行政運営は 宇美交番を駅前に移転誘致を

答 県警当局等と調整を図り 速やかに取り組む

問 縦割り行政の打破について、各課間に見えない垣根があり、職員全体にまとまりが無いように感じられるが縦割り行政の弊害が出ているのでは。

答 副町長 一部の課内部や課と課の間で連携が取れていない事務事業が在ることは確認しており、それらの弊害については、さまざまな改善を行い、時代の変化に応じて、臨機応変に対応する。

問 某課は相当ボリュームが多い事務分掌を所管しているが、そこに縦割り行政の弊害があるのでは。

答 副町長 事務分掌の内容、人事配置及び各課のバランスの問題と思う。

縦割り行政の弊害は是正するべく状況に併せ、各課間の応援体制を構築し、政策調整監や課長会組織で横断的に対応する。

問 行政のデジタル化に向け、当町も早急に庁舎内及び議会の取組を考える時期に来ている。

ICTやAI等先進技術の活用で、時代にふさわしい利便性の向上や行政サービスの提供、役場職員や教育現場の負担軽減のために、(仮称)デジタル課等の創設に向けて、調査研究費の当初予算への組み込みの考えは。

答 町長 新たな課を創設するには、人的体制や業務内容の見直しなど、組織全体を見通した検討が必要になる。デジタル化に向けた今後の国や県の動きを注視し、研究、検討を進める。

問 デジタル化を推進することで事務作業がペーパーレス化になる。行政と議会のデジタル化推進に向けての考えは。

答 議会事務局長 議長から調査を進め

るように指示があった。議会のデジタル化に向け、執行部と協議しながら早急に進めたい。

答 町長 ペーパーレス化は、行政と議会において、早急に取り組む必要がある。

行政のデジタル化推進は、計画的に対応を行い、住民サービスの更なる拡充や行政サービスの効率化を図る。

問 中国帰国者定着促進センター跡地の活用は。

答 町長 宇美町や住民にとって最大限かつ最善な利用活用ができるように、官民間問わず多面的に検討を進める。

問 一本松公園入口の水販売所の利用状況は。

答 上下水道課長 令和2年4月15日より供用開始し6月15日まで無料給水を実施し同月16日から20円で販売。

7月から11月まで売上合計は、35万370

0円。
月平均7万740円。

問 水の名称と案内板の設置は。

答 課長 名称を公募し『河原(ごうら)のしずく』と決定。

現在、愛称のデザインを作成中で、それを基に案内板を作成して設置場所を検討する。

問 幾度となく宇美交番の移転建替えの誘致について質してきたが全く進展もなく、町の動きもない。

多くの町民が望んでおり、宇美駅前への誘致に向け、行政が先頭に立って行動を起こす時期と思うが、考えは。

答 町長 今後、県警当局をはじめ関係部署等とも調整を図り、速やかに、交番の移設、移管に向け取り組む。



黒川 悟 議員

空き家対策の進捗は

【答】 一步でも前進できるよう 取り組む

問 空き家には、賃貸用、売却用、二次的住宅（別荘）に加え、管理されていない空き家があるが、地域の景観を損ねるだけでなく、安全面、衛生面、治安面からも深刻な問題が多い。当町の現状は。

答 都市整備課長
平成27年度に各自治会に協力をいただき、調査を行い400件の空き家を把握している。その内、解体、居住、売却などで、142件約36%は解決できている。また「※特定空家等」に認定されている空き家は現存しない。

状況等を報告している。今年度は、コロナの関係で会議を開催していないが、今年度中には報告をしたい。

問 空き家バンクの現状は。

答 課長 平成30年度に宇美町空き家バンクを設立しており、空き家の売却、賃貸等を希望する所有者からの申込情報を町のホームページ、窓口等を通じて情報提供し、町内不動産業者と連携を図りながら進めている。登録件数は28件、その内15件約54%は売買等が成立している。

問 空き家バンクに登録されている物件は活用できる空き家であり、安全・衛生・景観上問題がある空き家は、住宅用地特別措置法で固定資産税の減免があるので、放置されたままになっている。空き家対策特別措置法に基づき積極的に「特定空家等」の認定を行うべきだと思いが。

答 町長 空き家等の問題については、犯罪等の温床やさまざまな面で住民生活に支障を及ぼし、不安を与える要因にもなり、重要な課題だと認識している。しかしながら、「特定空家等」として認定することは、どの基準で認定するのか難しい。また、住民生活に直結する重要な問題であるため、今後更なる実態把握や情報収集に努め、空き家の抑制、解消に向け一步でも前進できるように取り組んでいきたい。

※特定空家等とは、そのまま放置すれば、倒壊等著しく保安上危険となるおそれがある状態、著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態等であると認められる空き家のこと。

公共工事の平準化を

問 地域を守る建設土木の担い手を育てる公共工事の平準化を

答 町長 公共工事の平準化については、円滑な施工ができることに加え、工事が安定することにより、工事の従事者の処遇改善や経営健全化、品質確保にもつながる。契約方法をはじめ、当町に適した発注方法を検討し、平準化に寄与する手法を前向きに進めていきたい。

問 空家対策協議会の現状は。

答 課長 平成29年3月に空家対策協議会を設置。同年11月に協議会を行い、宇美町空家対策等計画を策定。30年度は協議会を開催し、空き家対策の取組





小林 征男 議員

原田地区中越池の立ち入り禁止を

答 安全対策を検討する

- 問** 原田地区の中越池を水源とする水利権者から、田畑を耕作しなくなったことにより、水利権放棄の申し入れが町に来ているのでは。
- 答** 環境農林課長 中越池を水源とする農地はない。水利権放棄の申請は受理しており、現在は水利権が絡む制限はない。
- 問** 中越池は、現在福岡財務支局の管轄だが、今後は国から町への払い下げの依頼は。
- 答** 課長 水源としての機能はないが、町としては有効活用を図る必要があると考えているため、国との譲渡協議を進めている。
- 問** 国との譲渡協議の進み具合は。
- 答** 課長 昨年7月に、ため池法が施行されたことにより、防災上の観点から管理者を明確にし、調査、耐震工事、保全をすることになった。



子どもたちが春や夏時期に遊びに来る危険な中越池

- 問** この法を基に進めれば、今年度内に譲渡されることになる。
- 答** 課長 早急に譲渡申請書を国に提出する。
- 問** 国への譲渡申請は出したのか。
- 答** 課長 中越池は多くの子どもたちが春や夏時期に遊びに来るため、以前から立ち入り禁止を町に要望していた。国からの譲渡となった場合、町で管理をすることにしようと思うが、その対策は。
- 答** 課長 中越池は危険であるため、安全対策は今後検討をする。
- 問** 障子岳南3丁目にある住居6軒が、毎年ところ構わず陥没している。町には当時の石炭採掘鉱業所の資料を渡していたが、その後の調査結果は。
- 答** 都市整備課長 現在JOGMEC(独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構)に特定公害の調査を依頼しているが、結果がわかり次第報告をする。
- 問** どちらの鉱業所がこの地区の坑道を掘ったのか。
- 答** 課長 どの鉱業所の坑道かは、調査報告が来ておらず不明。
- 問** JOGMECからの調査結果報告は、いつになるのか。
- 答** 課長 坑道の有無については、土地所有者に、近日中午に直接報告ができると思う。
-
障子岳南の住宅陥没は炭鉱掘削が原因では



入江 政行 議員

コロナ禍で命と健康を守りぬく対策を

答 相談者のニーズに応じて対応を行っている

問 サルコペニアという全身筋力低下が起こることは、加齢や疾患により筋肉量や食事、特に筋肉を作るたんぱく質の摂取量が減少することが要因である。

新型コロナウイルスの感染拡大により、外出を自粛、運動する機会もなく、買物も行かなくなり、簡単な食事で済ませるようになる。

このようなコロナ感染症拡大の弊害でサルコペニアを発症し認知症へと繋がる。

サルコペニアの発症事例はあるのか。

また認知症へと繋がることが対策を講じているのか。

答 健康福祉課長

サルコペニアの発症事例の報告は受けていない。

要因については、十分に解明されていない部分があり、たんぱく質の摂取不足等による低栄養や、糖尿病等の生活習慣病との関連が

大きいと言われている。

サルコペニアは、筋肉や筋力が減少し、転倒骨折の大きくなりスクリになり、活動性が低下、認知機能も低下する。

予防対策としては業務委託している社会福祉協議会の職員が自宅を訪問して、認知症予防の脳トレの教材、筋力アップの教材等を配付。

そのほか、在宅高齢者の栄養状態改善や要介護状態を引き起こす疾患の予防の取組として、栄養改善配食サービスを実施している。

また、健診結果で体重の変化等がみられる方、低栄養が疑われる高齢者に対して、管理栄養士が個別指導等を行っている。

問 コロナ禍による経済困窮の広がりは、命と健康を脅かしている。

全日本民主医療機関連合会が、コロナ禍を起因とした困窮事例調査を行った結果、相談

時点で非正規雇用層の所持金がわずかな事例も多く、保険料の滞納で手元に保険証がない、資格証明書、無保険も多く、受診を控えることにつながっており、雇用と生活の破壊は深刻となっている。

そこで生活保護申請を簡素化し、ためらわず利用できる制度にすることや高すぎる国民健康保険料を引き下げ、減免制度の拡充などが言われている。

コロナ禍で経済困窮者が命と健康を脅かされているが、対策は講じられているのか。

答 課長 保健師が行う保健指導等の際、コロナ禍において経済的に困りの方の中には、医療費が惜しいと言われる方もいるが、病気の重症化予防のためには、受

診の継続が必要であることを説明し、理解を

促している。

経済的な理由によって病院受診を控えているという相談があった際には、無料または低額な料金で行う無料低額診療事業があり、実施医療機関を案内している。

生活が困窮している世帯から、就労、家計、生活全般の相談があった際には、福岡県が委託している自立支援相談事務所困りごと相談室を紹介し、生活相談の専門員への相談を促している。

生活の立て直しが困難になった場合は、生活保護の申請となり、町で申請受付をし、県の福祉事務所が決定する流れとなるが、事務を迅速に行い早急に申請の結果が出るように努めていく。





平野 龍彦 議員

コロナに負けない リモート(遠隔)行政を

答 デジタル化を進める

問 行政サービスにおける書類の作成は大半が定型化された作業となっている。職員の働き方の見直しが求められている中、ふるさと納税業務の効率性を高める定型自動入力業務の導入を。

答 まちづくり課長

先進地の情報を収集し、費用についても検証の上、代行業務に委託している事務を精査するなど、調査・研究をする。

問 入園者の利用調整や決定通知送付に時間を要している保育所入所選考業務にAIを導入し、保護者への合否の早期連絡と職員の負担軽減をすべきでは。

答 こどもみらい課長

1件ずつ電話をするなど保育所利用調整は、延べ125時間費やしている。先進地事例を参考に当町に即したAIシステムの調査・研究をする。

問 ※仮想デスクトップ技術の導入により、柔軟な働き方を誘因する職員のリモートワーク(遠隔勤務)化の準備をすべきでは。

答 総務課長 国・県

からのセキュリティ対策等指導のもと、リモートワークに関する手法を検討する。

問 行政サービスのデジタル化は、マイナンバーカードの普及率と連動する。来年3月から健康保険証としても活用ができることになり、普及率向上のため、本町独自の制度を。

答 住民課長 マイナ

ナンバーカード取得を推進する広報を集中的に行うほか、未取得者に対してQRコード付き交付申請書の個別送付を実施する。

交付窓口は、土日と夜間の開設を増やす等、普及率向上に向け、様々な整備拡充を図っていく。

問 デジタル化を進めるには、組織機構内に企画立案を実行できる専門職員が必要。県内の大学及び高等学校情報工学科等からの雇用環境を整え、知見を有するICT人材の募集を図るべきでは。

答 総務課長 知識を

持った若い人材は必要不可欠になってきているが、業務委託や職員の研修、専門機関との提携等を検討する。

問 新宮町、粕屋町、篠栗町の3町は、議会中継及び録画配信が行われており、議会本会議のリモート中継による傍聴参加ができています。

答 新たな生活様式で

は、人同士の非接触が求められていることもあり、議会のライブ配信をすべきでは。

答 課長 定例会のインターネット中継は技術的には可能だが、先進自治体の事例を調査し、本町の情報公開条

例に照らし合わせる等、慎重に検討をする。

問 篠栗町は、議案書等のデジタル化を既に実現し、本会議はリモート中継している。本町もコロナに負けないリモート行政を。

答 町長 ペーパーレス

化を含めて、議会・行政のリモート化、デジタル化を進める。

※仮想デスクトップ技術とは
接続元(リモートワーク職員)のPCからの閲覧は、いつでもどこからでも可能だが、データはすべてサーバー側に保存されており、接続元のPC側には一切画像は残らない技術。万が一接続元のPCがウイルス感染をしても仮想デスクトップ自体に影響はなく、リモートワーク導入の方法のひとつとなっている。



丸山 康夫 議員

宇美町公共施設再配置計画 一度立ち止まり再検討が必要では

答 状況変化に応じて
見直すなど柔軟に対応

問 新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかわからない不安な状況下で、7月以降女性の自殺率が80%も増加するなど、社会のひずみが社会的弱者に突き刺さっている。

働く婦人の家は、これまで女性の社会進出を支え、町の生涯学習推進に大きく貢献してきたと認識している。

働く婦人の家の事業及び機能は。

答 まちづくり課長
事業は、サークルや団体への貸館事業、男女共同参画講演会の開催、各種講座の開催、自主サークル活動支援等39事業を予定しているが、コロナの影響により大半は実施できていない。

機能としては、男女共同参画を行いながら、サークル活動の支援や講座等を開催し、生涯学習を推進すること。

問 働く婦人の家は2

年3ヶ月後に指定管理者との契約が切れた時点で廃止する予定となっているが、スケジュールは。

答 管財課長 令和4年度をもって内部機能の移転を行った後、施設自体は廃止し民間への売却を検討する。

民間への売却は土地と建物を合わせて、現状での売渡を想定しているが、新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない中で、今後状況を注視していく必要がある。

問 今後、働く婦人の家で行っている事業や機能の移転及び、職員処遇をどうするのか。

答 まちづくり課長
これまでのノウハウを生かせる形で社会福祉協議会への委託を視野に入れ、移転後も事業や機能を維持したい。

問 ボランティアセンターの移転先及び移転

後の運営方針は。

答 課長 移転先は地域交流センターの1階の飲食スペースか、住民福祉センター内で検討している

生涯学習のノウハウと、ボランティア団体をつなぎ、社会福祉協議会への委託を視野に、直営と委託の両方を検討していきたい。

問 うみハピネスの子ども教育総合支援センター化に伴い、トレーニングルームを移転する方向で検討されているが、どこに移転するのか。

答 健康福祉課長
現在検討中で、2月の厚生文教常任委員会では報告する。

を安易に進めることは考えていない。
来年度に教育委員会の諮問機関を設置し検討を進める。

問 老人福祉センターの廃止スケジュールと方針は。

答 管財課長 令和9年度に老人福祉センターの浴室以外の部分を小学校の空き教室に分散し機能移転を進める。

問 新型コロナウイルス感染症の拡大や、うみハピネスの子ども教育総合支援センター化に加え、宇美南中学校や老人福祉センターの廃止問題が複雑に絡み合う中で施設再配置計画を強引に進めず、いったん立ち止まり再検討する必要があるのでは。

答 町長 状況の変化があった場合はその都度見直す柔軟な対応が求められると認識している。

総務建設
常任委員会

Topics

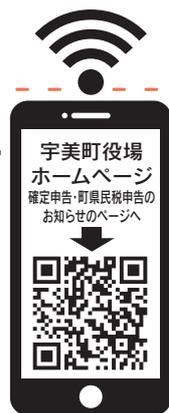
令和3年確定申告特設会場における受付方法の変更

税務課報告

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、宇美町役場で行われる確定申告の受付方法が変更される。

令和2年は当日先着100名まで整理券を配布していたが、令和3年は当日受付は行わず、専用電話にて来場する日時を事前に予約する方法に変更する。

毎回多数の申請者が順番待ちをしていたが、この変更により密の状態を極力回避したい。



議会改革調査
特別委員会

Topics

宇美町議会災害対策委員会要綱・災害時等行動マニュアルを制定

町で大規模な災害等が発生した場合に、宇美町議会が果たすべき役割を整理するため、本委員会で協議を行ってきた結果、令和2年12月に要綱及び行動マニュアルを制定した。

内容は、町民の安全の確保、早期復旧・復興のため、災害時には町災害対策本部と連携、災害対応を側面から支援し、復旧時には国・県等に要望活動を行うことなどを明記し、議員が一丸となって災害に対応できる体制を整えた。



2018年7月6日の豪雨災害の様子

厚生文教
常任委員会

Topics

宇美町の*ICT教育環境は県下トップクラスに 桜原小学校・原田小学校の研究発表会を視察

学校訪問

当町の学校教育の現場では、GIGAスクール構想で町立全ての小中学校にICT環境を整備し、11月26日(木)に桜原小学校でICTを活用したオンラインによる研究発表会、12月3日(木)に原田小学校で福岡地区学校図書館研究大会(リモート参観)が実施され、厚生文教常任委員会で視察した。

原田小学校の図書館教育において、子どもたちは「調べる学習コンクール」で上位入賞者が多く、町立図書館と学校図書館との連携ができていると感じた。

また、今回の視察ではこれまで宇美町が取り組んできた教育環境、特にICT関連の整備状況に注目した。

コロナ禍での研究大会となり、録画によるリモート参観が行われ、そこで活躍したのが65型の大型モニター。また、全ての教室に50型の4Kテレビの配置も完了していた。さらに、放送機材も一新しコロナ禍での教育環境を充実することができていた。

このようにスピード感を持って取り組んできた宇美町のICT教育環境は、県下でもトップクラスになったと実感した。



大型モニターを使った録画によるリモート参観の様子
各教室の左上には50型の4Kテレビも設置



一人一台パソコンの導入が完了し、調べる学習コンクールで使っていた図鑑や百科事典はこれまで貸出しができなかったが、町立図書館が導入する電子書籍と連携し、いつでもどこでも見ることが可能になる。

※ICTとは、「Information and Communication Technology」の略語で、日本語では「情報通信技術」と呼ばれている。ICT教育は、文部科学省が2019年末に「GIGAスクール構想」を示したことから、国の方針として各校での導入が急務となっている。



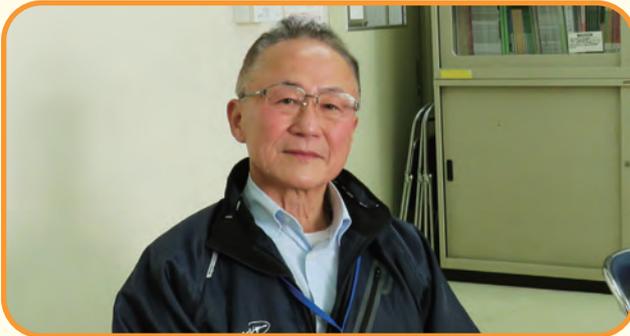
シリーズ第12弾

町制施行 100周年記念特集

宇美町の歴史を見つめてこられた方々に
スポットを当てることにしました。

「縁の下の力持ち」 井野小おやじの会

会長 たか はし のぶ あき 高橋紳章さん(68歳)



高橋会長は、井野小学校のPTA会長時に井野小おやじの会を創立されました。

おやじの会会長に就任して約20年目。入学式には保護者にチラシを配布して、会への入会を呼びかけています。

通称「おやじの会」の主な活動内容は、校庭横の竹やぶの草刈りや、デイキャンプで子どもたちと一緒に飯ごう炊飯やキャンプファイヤーをしたり、井野小フェスタでは手作りカレーを振る舞ったり、ほんげんぎょうのやぐら作りなどをされています。

男性パワーをもって、保護者や学校と連携しながら、子どもたちが学校生活を楽しく過ごせるよう支援されています。会員同士は、わきあいあいとしているようで、参加できる時間帯や役割の中で、子どものために力になれることを心がけながら活動されています。

また、保護者や学校からの相談にも対応されるなど、学校・地域・保護者3者のチームワークの良さを感じました。

井野小おやじの会は、平成13年6月発足。現在の会員数は約80名で保護者と保護者OBで構成されています。子どもたちの学校生活を見てもらうために、忙しいお父さんたちに学校行事への参加を呼びかけ、学校や保護者を支える縁の下の力持ち的な役割を担っている会です。



◀【井野小おやじの会寄贈品】
初創作のコーナーウッドラック



▲デイキャンプ
キャンプファイヤーの様子



デイキャンプ 飯ごう炊飯の様子



井野小おやじの会をとっても頼りにしておられる遠藤校長先生

議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか！

宇美町議会では新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。

12月議会では17名が傍聴にられました。

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)に定例議会が開かれます。
役場3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次の議会は、3月3日に開会予定です。

※ 詳しくは宇美町議会事務局 (TEL092-934-2248) まで
お問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会事務局のメールアドレスです。 gikai@town.umi.lg.jp

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫

副委員長 平野 龍彦

委員 入江 政行

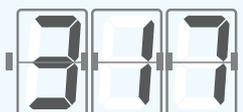
委員 安川 繁典

委員 南里 正秀

委員 飛賀 貴夫

Gikaiboutyou Meter 議会傍聴メーター

2018年3月議会から
議会傍聴にいられた
人数です。



◇発行・福岡県宇美町議会
◇編集・議会広報常任委員会
◇発行日・令和3年2月15日
◇印刷・(株)四ヶ所

〒811-2102 福岡県糟屋郡宇美町宇美5丁目1番1号
TEL 092-934-2248 FAX 092-934-2281
E-Mail gikai@town.umi.lg.jp